

城陽市国際交流協会のあゆみ

- 2019 1.15 協会だより 48号発行
- 2.27 さんさんフェスタにて子ども英会話教室「JIEA Kids World」を開催 参加者 26人(文化パーク城陽)
- 3.3 **交流会事業：日本文化体験**として「国際交流と冬の風物詩京丹後市へ」京丹後市国際交流協会との勉強会、蟹料理、丹後ちりめん染色体験、琴引浜鳴き砂文化会館見学 参加者 31人(外国人 8、内会員 28人)
- 3.9 多言語映像作成報告会を開催**動画「家庭ごみの分別・出し方」**をやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語で制作(文化パーク城陽)、3.29にHPで公開
- 3.10 城陽マラソン大会にて国際交流ブース設置、姉妹都市児童絵画展示
- 3.25 **暮らしの情報多言語化事業：「ごみの分別・出し方」と「家庭ごみ収集カレンダー」**英語、中国語、ベトナム語を作成



日本海の冬の味



多言語映像作成報告会

2019 年度

- 4.11～2.27 子ども英会話講座 受講生 26人
- 5.8～4.24 語学講座事業：韓国語 91人 韓国語クラブ 154人 英語 224人 中国語 29人 夏季子ども英会話 25人 計 523人受講
- 4.28 「ミニ会報－EVENT INFORMATION－」を発行
- 5.18～7.13 日本語教室運営事業：日本語支援ボランティア養成講座 受講者 19人
- 6.22 **総会・記念講演** 協会親善大使・元AETで米国ピッツバーグの高校の日本語教師スティーブン・バルサミコ氏による「国際交流の重要性～A Teacher's Journey～」講演終了後 来訪高校生と交流会 参加者 73人
- 6.17～24 **団体受入事業**：ローラシアン協会のプログラムに参加する高校生 8人 引率者 1人のホームステイを実施
- 7.19～22 **団体受入事業**：姉妹都市バンクーバー市クラーク・カレッジ日本語研修参加者 6人 引率者 1人を受入、3泊のホームステイを実施
- 7.23～8.2 夏休み子ども英会話教室 夏休みの期間中市内3ヶ所でAETによる子ども英会話教室を実施 参加者 25人
- 8.7 慶山市中学生受入れ(8.6～8.9)を予定していたが、国際状況の影響により慶山市より延期の申し出があり、宿泊交流に応募していた中学生には韓国文化体験を実施
- 9.2 協会だより 49号発行
- 9.7～8 **国際交流会員研修事業**：広域多市連携パートナーシップ協定を結ぶ安芸高田市が主催する防災訓練に外国人とともに参加 参加者 5人



スティーブン・バルサミコ氏による講演



おかげ踊りをおどるクラークカレッジの学生



韓国文化体験をする中学生

城陽市国際交流協会のあゆみ

2019

10.21 ~ 22 第27回絵画交流 市民文化祭で姉妹都市幼児・小学生等の絵画各40点を展示(文化パルク城陽)

11.4 **国際交流会員研修事業**: 京都府国際センターと共催で、寺田南小学校区の防災訓練への参加と訓練後のワークショップの開催。終了後にセンター主催のワーキング会議を開催 参加者46人(内外国人14人)



防災についてのワークショップ

2020

1.15 協会だより 50号発行

2.11 **さんさんフェスタ**にて子ども英会話教室「JIEA Kids World」を開催 参加者30人(文化パルク城陽)

2.21 **交流会事業**: 市内在住のベトナム人を講師としてベトナム料理体験 参加者17人(寺田コミセン)



ベトナム料理教室

2.28 **城陽市防災ブックの多言語版を作成** やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語各300部

3.4 ~ 3.10 **新型コロナウイルス感染症の多言語情報の発信** ホアン・テイ・フォン・ハー氏が市内企業で3年間の技能実習を終え、帰国されるにあたり城陽市国際交流親善大使に委嘱



防災ブック 多言語版

3.25 ~ 28 **第18回中学生韓国派遣事業: 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止**

2020年度

6.2 ~ 3.25 子ども英会話講座 受講生24人

5.15 「ミニ会報-EVENT INFORMATION-」を発行

5.27 ~ 4.27 語学講座事業: 韓国語49人 韓国語クラブ144人 英語127人 中国語24人 計344人受講 (夏季子ども英会話中止、4~6月休講(一部オンラインで実施)、1月12日~2月12日・4月8日・4月28日対面授業は休講)

6.7 **総会 書面決議に変更**

9.5 協会だより 51号発行

9.13 **広域多市連携パートナーシップ避難者聞き取り訓練** 安芸高田市・京丹後市・西宮市の国際交流協会が遠隔で通訳を提供 参加者24人(スタッフ9人、通訳6人、外国人被災者役9人)(城陽市国際交流協会・文化パルク城陽・自宅)

10.2 交流会事業: 元AETケリー・ワイアット氏とのオンライン交流会 参加者12人(内会員8人)



NHKで紹介された聞き取り訓練の様子

2021

1.13 協会だより 52号発行

城陽市国際交流協会のあゆみ

2021 2.27

広域多市連携パートナーシップ「地域の多言語情報発信」フォーラムをオンラインで開催
講師：土井佳彦氏（多文化共生リソースセンター東海） 参加者 45 人



オンライン開催のフォーラム

3.23

2021 年度ごみ収集カレンダーの多言語版の作成（英語、中国語、ベトナム語）

3.31

暮らしのオリエンテーションのちらし作成（英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語）

随時

京都地域交響プロジェクト交付金を活用し外国人住民への新型コロナウイルス感染症などの情報 43 報をホームページや Facebook で発信（英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語）



2021 年度

4.13 ~ 3.17

子ども英会話講座 受講生 20 人

4.30

「ミニ会報－ EVENT INFORMATION －」を発行

5.15 ~ 7.3

日本語教室運営事業：京都府国際センターと共催で日本語支援ボランティア養成講座を実施 受講者 20 人（第 1 回～第 6 回までオンライン、第 7 回寺田コミセン、第 8 回文化パーク城陽）



日本語支援ボランティア養成講座

5.26 ~ 4.21

語学講座事業：韓国語 29 人 韓国語クラブ 124 人 英語 97 人 中国語 24 人 夏季子ども英会話 16 人 計 290 人受講（オンライン：春と冬の英会話、対面授業休講：4 月 25 日～6 月 20 日、8 月 15 日～9 月 30 日、1 月 24 日～3 月 21 日）

6.20

総会（福祉センター）

8.30

総務省 多文化共生事例集（令和 3 年度版）に広域多市連携パートナーシップ協定に基づく災害時協力が掲載

9.30

「ミニ会報－ EVENT INFORMATION －」を発行

11.3

交流会事業：韓国の大学で舞踊学科を卒業された市民を講師に迎え、K-POP 創作ダンスを児童が体験 参加者 6 人



K-POP 創作ダンス

11.13 ~ 14

第 28 回絵画交流 市民文化祭で姉妹都市幼児・小学生等の絵画 33 点を展示（文化パーク城陽）

2022 1.12

協会だより 53 号発行

1.18 ~ 2.25

国際交流会員研修事業：オンライン研修「やさしい日本語～行政文書をやさしく伝える」
1.18 「やさしい日本語」とは（基礎編）、2.18 「やさしい日本語」の変換練習（応用編）、2.25 「やさしい日本語」で情報発信チャレンジ（実務編） 申込者 36 人 延べ 93 人受講



Zoom を使ったオンライン研修

城陽市国際交流協会のあゆみ

- 2022 2.6 「JIEA Kids World」を開催 参加者 10 人（城陽市国際交流協会）
- 3.31 2022 年度ごみ収集カレンダーの多言語版の作成（英語、中国語、ベトナム語）
- 随時 **京都地域交響プロジェクト交付金**を活用し外国人住民への新型コロナウイルス感染症などの情報報をホームページで 26 報、Facebook で 46 報を発信（英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語）、ホームページで感染状況をグラフで掲載



ごみ収集カレンダー 英語版

2022 年度

- 4.12 ~ 3.14 子ども英会話講座 受講生 18 人
- 4.13 ~ 2023.4.27 語学講座事業：韓国語 48 人 韓国語クラブ 102 人 英語 202 人（英会話屋コース 6 講座に拡充）中国語 16 人 夏季子ども英会話 15 人 計 383 人受講
- 4.30 「ミニ会報— EVENT INFORMATION —」を発行
- 6.19 **総会（福祉センターホール）**
- 8.2 ~ 5 夏季子ども英会話教室 参加者 15 人
- 9.30 協会だより 54 号発行
- 10.1 ~ 11.19 日本語教室運営事業：日本語支援ボランティア養成講座 夢気球が初めて講座の構成と講師を担当 受講者 15 人
- 11.19 ~ 20 第 29 回絵画交流 市民文化祭で姉妹都市幼児・小学生等の絵画 23 点を展示（文化パーク城陽）
- 2023 1.12 協会だより 55 号発行
- 2.11 「JIEA Kids World」を開催 参加者 15 人（城陽市国際交流協会）
- 3.12 **国際交流会員研修事業**：城陽市防災ブック多言語版を用いて防災研修 参加者 10 人（文化パーク城陽）
- 3.14 **バンクーバー市からの訪問団を招き昼食会** 参加者 来客 28 人 協会関係者 21 人計 49 人（ログスランド）
- 3.14 2023 年度ごみ収集カレンダーの多言語版の作成（英語、中国語、ベトナム語）



子ども英会話教室 クリスマス会



日本語支援ボランティア養成講座



防災ブックを用いた防災研修会



ログスランド BBQ

城陽市国際交流協会のあゆみ

2023

3.28～31

第19回中学生韓国派遣事業：市内中学生9人を慶山市へ派遣、三聖賢中学校訪問、三聖賢歴史文化館、慶山数学体験センター、大邱韓医大學村・景福宮を見学



三聖賢歴史文化館での集合写真

3.31

京都地方交響プロジェクト交付金を活用し2022年3月発行の城陽市防災ブックの多言語版を作成 やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語各300部



防災ブック 多言語版

2023 年度

4.11～

子ども英会話講座

4.12～

語学講座事業：韓国語、韓国語クラブ、英語、中国語

6.12～19

親善大使スティーブン・バルサミコ氏が引率する米国高校生12人を9家庭がホームステイの受入

6.25

総会（福祉センターホール）



森澤博光会長

7.24～27

夏季子ども英会話教室 参加者9人



夏季子ども英会話

8.1～4

第10回慶山市中学生訪問団受入事業：慶山市中学生20人が城陽を訪問、城陽中学校・派遣団員との交流

9.2

協会だより56号発行

11.18～19

第30回絵画交流 市民文化祭で姉妹都市幼児・小学生等の絵画47点を展示（文化パーク城陽）



交流会後の日韓の中学生

12.10

協会設立30周年記念式典・祝賀会

12.17

協会設立30周年記念イベント「かけはしは笑いから」



大韓民国 慶尚北道 慶山市

キョンサン プクト キョンサン

姉妹都市盟約調印：1991年1月22日

慶山市役所：大韓民国慶尚北道慶山市男妹路 159 (中方洞 701-17)

人口 約 28 万人・面積 411.70km²

꽃피다
시민행복
행복경산
경산시
Gyeongsan

2023 경산

갯바위

慶山市は慶尚北道の南部中央地域に位置し、韓国第三の都市である大邱広域市と隣接しています。大都市近郊という立地条件を活かしたまちづくりを進めており、企業への創業支援も充実し、慶北テックパークをはじめ、4,300 余りの企業が操業する先端産業都市であるとともに、市内には 10 以上の大学があり、約 10 万人が学ぶ韓国最大の学園都市です。

また、鉄道は京釜線及び大邱線、京釜高速道路や慶山IC、産業道路などを通じ各地とつながっているうえ、近年には大邱地下鉄が慶山市まで延伸され交通の要衝地としても発展しています。

心を込めて祈れば、一つの願いは必ず叶えられるといわれる冠峰石造如来坐像（別名カッパウイ）や三聖賢歴史文化公園などの文化観光地が点在し、毎年、国内外問わず、多くの観光客が慶山市を訪れています。

特産物としては、ナツメ、ブドウ、モモなど多くの農作物が生産されており、特にナツメ生産量は韓国国内で 30% と韓国 1 位の生産地となっています。

このように、慶山市は、都市部と農村部が融合する教育・文化・産業・住居が調和した複合機能都市として、「花咲く市民中心の幸せ 慶山」の都市像を目指し、さまざまな分野において日々発展を続けています。

경산 팔공산 관봉석조여래좌상 [입명 갯바위]



慶山市のマスコット「ペペリ」



市の木：イチョウ



市の鳥：カササギ



市の花：木蓮

①慶山市役所
경산시청



②慶山市場
경산시장

市場では野菜、魚、パン、果物、靴、衣類など、様々な物が販売されていて、慶山市民の台所として多くの買い物客でにぎわっています。



⑤男妹公園
남매공원

都心の中の水辺公園として市民に愛される男妹池。ウォータースクリーンを利用して映像と噴水演出を一緒にした映像ショーが行われます。



⑥慈仁端午祭 (重要無形文化財第 44 号)
차린단오제

毎年旧暦5月5日の端午を前後に桂亭林一帯で慶山人の護国の精神のこもった女円舞、韓廟大祭をはじめ、仮装行列や菖蒲で髪洗いなどの行事が行われます。



③三聖賢歴史文化公園
삼성현역사문화공원

2015年4月30日開館。慶山の三聖賢、元暁・薛聰・一然の偉大な業績と奥深い精神的価値を紹介、体験できる複合文化の場です。



④八公山カッパウィ
(冠峰石造如来座像)
관봉석조여래좌상

禅本寺が管理する宝物第 431 号に指定された冠峰石造如来座像で、頭に笠のような板石があることから“カッパウィ仏”と呼ばれている。統一新羅時代(西暦638年)に造成。全体の高さは4mに及び、真心を込めて祈るとだれでも一つの願いが叶うと伝えられています。



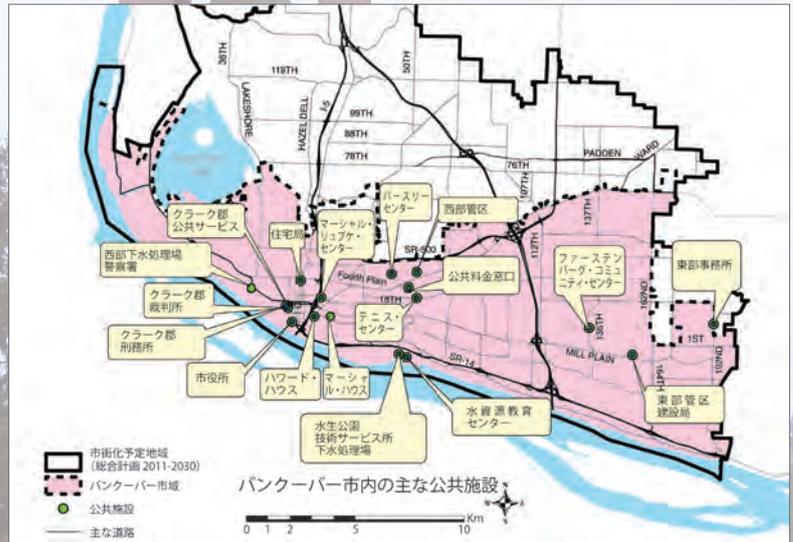
アメリカ合衆国 ワシントン州バンクーバー市

姉妹都市盟約調印：1995年10月30日

〔バンクーバー市役所：415 W. 6th St. Vancouver, Washington 98660, USA〕

バンクーバー市はワシントン州の南端に位置し、コロンビア川を挟んでオレゴン州の大都市・ポートランド市に隣接しています。温暖な気候と緑豊かな自然に恵まれ、交通の便も良いことから、ポートランド市のベッドタウンとして人口が急増しており、134.3 km²の市域に19万人が暮らしています（2020年国勢調査）。

この地域には1万年以上前からネイティブ・アメリカンが居住していました。1824年に毛皮貿易の拠点としてバンクーバー砦が作られて以来、立地条件の良さから米軍駐屯地、バンクーバー港での造船、ピアソン・フィールドでの航空機製造や飛行場利用などがなされてきました。バンクーバー市は1857年に法制化され、167年の歴史があります。



バンクーバー港 ターミナル 1 ~ Turminal 1 ~

バンクーバー港は毛皮貿易のためイギリス人が入植して以来、物資輸送の重要な役割を果たしてきました。古くはコロンビア川の渡し船、20世紀初頭には材木や穀物の輸出基地、また、造船所として地域に繁栄をもたらしました。一方で州境を渡る橋も建設され、1958年の橋

の幅に伴い、ターミナル1の機能は西側に移動され、レッド・ライオン・ホテルなどが建設され市民が集う場所となりました。2015年以来「バンクーバー・ランディング」と名づけられた再開発が進められ、2022年6月に一般に公開されました。





開拓当時を伝えるバンクーバー砦



1905年開港のピアソン飛行場は現在アメリカで操業されている一番古い空港です。



毎週開かれるファーマーズマーケットでは新鮮な野菜や果物、地元の特産品に出会えます。

バンクーバー市がHPで公表しているデータ

最近では自動翻訳機能が装備されて50以上の言語で表示されます。

数値で見る - By the Numbers

<https://www.vancouverannualreport.org/numbers>

私たちの人々 住民: 190,915人
 男性: 48.9% 女性: 51.1%
 平均年齢: 37歳 世帯収入平均値: 年間 63,617ドル
 アジア人: 5.6% 黒人またはアフリカ系アメリカ人: 2.3%
 ヒスパニック系、ラテン系 / A/E および非白人: 13.9%
 アメリカ先住民: 0.6%
 ハワイ先住民およびその他の太平洋諸島民: 1.5%
 2つ以上の人種: 6% 白人: 71.5%

就職率: 96.5% 高校卒業資格: 91%
 学士号取得: 29.2%



貧困の中で暮らしている: 12.7%
 障害を持っている: 9.7% 退役軍人: 6.1%

家庭内で英語以外の言語を話す: 20.2%
 アジアおよび太平洋諸島: 4.4% その他: 0.4%
 その他のインド・ヨーロッパ語: 5.6%
 スペイン語: 9.8%

出典: 2020年国勢調査 (10年毎)、米国国勢調査局、2019年の5年間推定米国社会調査、2021年州健康青少年調査 (保健局、保健省、公共監督官局、酒類および大麻委員会などの協力)

市行政 - City Government

<https://www.vancouverannualreport.org/city-government>

正職員: 1,124人 警察官: 217人
 消防士: 202人 新規採用: 160人
 市が認め支援する町内会: 71
 公園面積: 9.09 km² 公園数: 82
 自然地域: 28 遊歩道の距離: 32 km 以上



エスター・ショート・パーク



コロンビア川沿いの遊歩道



市内を彩るパブリックアート

中国語講師 南部 茜

振り返ってみると、城陽市国際交流協会と共に成長し、29年になります。

私は1993年、何も知らないまま日本へやってきました。日本で何ができるのかと考えた時、もともと中国で教員免許を持っていたこともあり、日本でも人のために役立つことができたと思うようになりました。そのような折、義母の提案で協会の会員登録をすることになりました。当時協会の責任者であった藤本さんから「城陽市の市民から中国語を習いたいとの声がある。中国語教師にならないか」と声をかけられ、その一言と家族の後押しで、協会との「縁」が始まりました。

私にとって国際交流協会は心の拠り所です。毎年春季と秋季の中国語短期講座でいろいろな方々と出会い、また協会を通して多くの仕事紹介もあり、日本社会とつながることができました。最初はボランティア通訳の仕事を紹介され、深谷や今池小学校などへ、日本で困っている中国出身の児童を援助しました。その後は、中国残留孤児のお世話をする仕事も紹介されました。この仕事は今も続けています。これらの仕事を通して、私は中国から離れていますが、中国と関わることができています。

協会はいつも私のことを気にかけてくださり、支えてくれています。仕事の面だけではなく、プライベートの面においても優しく包んでくれます。職員の大久保さんと蓮佛さんはいつも会う時に我が子のことを「マーちゃんどう？」と聞いてくださり、私も自然と子育ての悩みを聞いてもらったり、家族の話などをするようになりました。まるで家族であるかのような気持ちになれます。中国には「家では父母に頼り、外では友に頼る」ということわざがあります。まさにその通りです。協会はいろいろな国の方々と結びつけ、互い

に助け合う環境作りの場を提供しています。私の場合、協会の「夢気球」のボランティアの先生から、日本語と日本文化について教えていただきました。おかげで、私は日本での生活をより一層楽しく過ごすことができます。それは協会があったからこそできたことだと思います。本当に感謝しています。

国際交流協会では、「草の根交流」を推進することをその活動目的の一つにしています。「中国語サークル」10周年記念の際、協会の活動補助事業を利用し、中国の江南地方で日中文化交流活動を行うことができました。この交流は、一生忘れられない思い出になっています。活動補助事業は大変有意義な事業であると思いますので、もっと多くの団体がこの事業を利用できたら、「草の根交流」ももっともっと広がるだろうと信じています。

今回国際交流協会設立30周年記念の場を借りて、来日してからの我が身を振り返ることができました。私はこれからも協会の一員として、国際交流事業に携わっていきたいです。そして、日中の「一衣帯水」の友好関係に寄与すべく尽力したいと思っています。



城陽市国際交流協会「設立30周年」を祝って

日韓親善京都「さくらとむくげの会」

名誉会長 高山 和己

コロナ禍で外国の国々との親善交流はピタッと静止していましたが、本年再開に踏み切った英断に驚きました。

「石橋をたたいて渡らない」というのが慎重派の決断だと評価したのですが、堂々と本年韓国慶山市（キョンサン）に中学生を派遣したのが「城陽国際交流協会」（以下交流協会）です。

派遣にあたっては各組織の理事長・会長さんが集結している交流協会の理事会で相当な議論と、韓国全土はもとより慶山市の地域の実情や風評等の調査を念入りに実施し決定したものと賞賛致しました。

幸いにも韓国訪問の役員・生徒さんは初期の目的を果たし元気に異文化吸収、友情を育み帰国され安堵しました。

協会が発足して30年の年月を韓国・アメリカとの二国の親善交流を活発に進めている協会の運営に敬意と感謝を申し上げます。

と申しますのも、私も少年サッカー交流の一員として(故)安村治監督の意思を次いで韓国大邱市(テグ)と40年間交流を続けていますが、交流協会の下部組織として毎年物心両面のご支援を頂いています。

一時期休止しましたが、古瀬善啓氏(現名誉会長)の采配で日韓親善京都“さくらとむくげの会”の支援組織として活動を進めていますが、1997年には在日民団のご推薦で京都新聞主催「第7回市民国際交流賞」(故)中村千代和会長、2014年駐大阪総領事推薦・「韓国総務総理賞」古瀬善啓会長、2017年駐大阪総領事推薦「第9回高門宮妃殿下顕彰」高山和己会長拝受と着実に在日民団の方々との交流、韓国サッカー協会・青少年の

スポーツ交流等々一歩一歩進めています。

多くの城陽市民の方々、企業の関係者、在日民団の皆様の日ごろのご支援に感謝申し上げ「城陽市国際交流協会」の更なるご発展をお祈りしお祝いのご挨拶といたします。



2018年高門宮妃殿下顕彰レセプションの様子

バンクーバー市姉妹都市盟約20周年訪問団の交流の思い出 城陽市国際交流協会

顧問 辻 文明

2015年7月に、バンクーバー市との姉妹都市盟約締結20周年記念市民訪問団を派遣すべく、参加者を公募したところ総勢23名(24歳の若者から79歳の高齢者まで)の大訪問団となりました。

多くの市民の皆様のバンクーバー市との親善交流に対する深い思いに大変感激したところであります。

さて、訪問団がポートランド空港に到着したところ、バンクーバー市の元市長ブルース・ヘーゲンセン氏やロータリークラブ等の多くの人々の出迎えを受けました。訪問団の市内滞在中の移動のバスは元市長のヘーゲンセン氏、現市長のアン・オウーゴ氏、元市議等が自ら運転して案内していただきました。

今回の我々の訪問団受け入れのために、バンクーバー市・市議会・ロータリークラブ・コロンビア川経済開発協議会・クラークカレッジ・地元日系企業の信越化学等で実行委員会が組織され、どのような受け入れをするのかずいぶん協議されたとのことでした。

訪問中は、レビット市長(訪問時の市長)の歓迎レセプション、市議会訪問とインタビュー(市内家庭にテレビ放映)、城陽噴水の開所式参加のほか図書館、クラークカレッジ・市内施設等の見学、独立記念式典への参加(舞台における城陽市訪問団の紹介)さらには広々とした会場での花火大会にも参加し多くの市民の皆様方と交流いたしました。

さらには、5つのホスト家庭でのホームディナーに、訪問団員それぞれ4人から5人に分かれて招待され食

事と交流に花が咲きました。

参加者からは、「緑の多い街・道が広くゆったりした街・古い建物がうまく活用されている・散歩中に出会った人は気軽に挨拶してくれた・まちを挙げての歓迎に感謝・言葉の壁にドキドキしたが喋れなくても心が通じた・記念品の交換やホームパーティー等おもてなし文化の違いを感じた・コミュニティの大切さを感じた」等々の感想をいただき、バンクーバー市の皆様のコミュニティによる温かいもてなしで大変良い親善交流ができたこと喜んでおります。

ここ数年間は、コロナ禍で積極的な交流はできませんでしたが、人と人の草の根交流の推進の大切さと必要性を痛感しているところであります。

今後とも、城陽市国際交流協会が草の根交流の懸け橋として50年・100年と発展していくことを祈っています。



城陽噴水開所式でのレビット市長と辻団長

2013～2014 年度役員

役 職	氏 名	所属団体
会 長	辻 文明	学識経験者
副会長	池原 晴幸	城陽市文化協会
副会長	皿木 睦夫	(公財) 城陽市民余暇活動センター
理 事	有村 誠	(一社) 城陽青年会議所
理 事	小西 繁夫	城陽ライオンズクラブ
理 事	谷 則男	京都やましろ農業協同組合
理 事	西岡 京子 村田 淳子	国際ソロプチミスト 2013年度 南京都 2014年度
理 事	藤城 光雄	城陽市議会
理 事	森澤 博光	京都城陽ロータリークラブ
理 事	安井 さか糸	城陽市教育委員会
理 事	山口 潔	城陽市体育協会
理 事	山中 信和	日韓親善京都「さくらとむくげの会」
監 事	西江 敏和	城陽商工会議所
監 事	森 俊博 吉岡 喜彦	城陽市役所 2013年度 2014年度

顧 問	山口 吉男	元会長
顧 問	工藤 香代子	元会長
顧 問	富田 泰溥	前会長

2017～2018 年度役員

役 職	氏 名	所属団体
会 長	森澤 博光	学識経験者
副会長	安藤 洋二	(公財) 城陽市民余暇活動センター
副会長	松本 英四郎	城陽ライオンズクラブ
理 事	有村 誠	(一社) 城陽青年会議所
理 事	有吉 弘行 山本 廣治	城陽市体育協会 2017年度 2018年度
理 事	石田 勝也	京都城陽ロータリークラブ
理 事	井上 美知子	国際ソロプチミスト南京都
理 事	谷 則男	京都やましろ農業協同組合
理 事	樋口 豊彦 本城 隆志	城陽市文化協会 2017年度 2018年度
理 事	増田 貴	城陽市議会
理 事	安井 さか糸 大戸 光博	城陽市教育委員会 2017年度 2018年度
理 事	山中 信和	日韓親善京都「さくらとむくげの会」
監 事	生駒 智史	城陽商工会議所
監 事	荒木 正人	城陽市役所

顧 問	山口 吉男	元会長
顧 問	工藤 香代子	元会長
顧 問	富田 泰溥	元会長
顧 問	辻 文明	前会長

2015～2016 年度役員

役 職	氏 名	所属団体
会 長	辻 文明	学識経験者
副会長	安藤 洋二	(公財) 城陽市民余暇活動センター
副会長	池原 晴幸	城陽市文化協会
理 事	相原 佳代子	城陽市議会
理 事	有村 誠	(一社) 城陽青年会議所
理 事	有吉 弘行	城陽市体育協会
理 事	谷 則男	京都やましろ農業協同組合
理 事	松本 英四郎	城陽ライオンズクラブ
理 事	村田 淳子	国際ソロプチミスト南京都
理 事	森澤 博光	京都城陽ロータリークラブ
理 事	安井 さか糸	城陽市教育委員会
理 事	山中 信和	日韓親善京都「さくらとむくげの会」
監 事	西江 敏和 生駒 智史	城陽商工会議所 2015年度 2016年度
監 事	荒木 正人	城陽市役所

顧 問	山口 吉男	元会長
顧 問	工藤 香代子	元会長
顧 問	富田 泰溥	前会長

2019～2020 年度役員

役 職	氏 名	所属団体
会 長	森澤 博光	学識経験者
副会長	安藤 洋二	(公財) 城陽市民余暇活動センター
副会長	松本 英四郎	城陽ライオンズクラブ
理 事	石田 勝也	京都城陽ロータリークラブ
理 事	井上 美知子	国際ソロプチミスト南京都
理 事	大戸 光博	城陽市教育委員会
理 事	熊谷 佐和美	城陽市議会
理 事	小出 拓	(一社) 城陽青年会議所
理 事	田中 雅彦	京都やましろ農業協同組合
理 事	堀井 裕司	日韓親善京都「さくらとむくげの会」
理 事	本城 隆志	城陽市文化芸術協会
理 事	山本 廣治	城陽市スポーツ協会
監 事	生駒 智史	城陽商工会議所
監 事	荒木 正人	城陽市役所

顧 問	山口 吉男	元会長
顧 問	工藤 香代子	元会長
顧 問	富田 泰溥	元会長
顧 問	辻 文明	前会長

2021～2022年度役員

役職	氏名	所属団体
会長	森澤 博光	学識経験者
副会長	安藤 洋二	(公財) 城陽市民余暇活動センター
副会長	松本 英四郎	城陽ライオンズクラブ
理事	岩見 悦明	京都城陽ロータリークラブ
理事	大戸 光博	城陽市教育委員会
理事	田中 雅彦	京都やましろ農業協同組合
理事	谷 直樹	城陽市議会
理事	戸田 慶子	国際ソロプチミスト南京都
理事	中島 慶祐	(一社) 城陽青年会議所
理事	堀井 裕司	日韓親善京都「さくらとむくげの会」
理事	本城 隆志	城陽市文化芸術協会
理事	山本 廣治	城陽市スポーツ協会
監事	生駒 智史	城陽商工会議所
監事	荒木 正人	城陽市役所
顧問	山口 吉男	元会長
顧問	工藤 香代子	元会長
顧問	辻 文明	前会長

2023年度役員

2023年6月25日現在

役職	氏名	所属団体
会長	森澤 博光	学識経験者
副会長	井関 守	(公財) 城陽市民余暇活動センター
副会長	山本 廣治	城陽市スポーツ協会
理事	新井 史人	京都城陽ロータリークラブ
理事	稲田 正文	京都やましろ農業協同組合
理事	大島 淑美	国際ソロプチミスト南京都
理事	大戸 光博	城陽市教育委員会
理事	小松原 一哉	城陽市議会
理事	谷 直樹	城陽ライオンズクラブ
理事	中島 慶祐	(一社) 城陽青年会議所
理事	堀井 裕司	日韓親善京都「さくらとむくげ」の会
理事	本城 隆志	城陽市文化芸術協会
監事	生駒 智史	城陽商工会議所
監事	吉川 保也	城陽市役所
顧問	山口 吉男	元会長
顧問	工藤 香代子	元会長
顧問	辻 文明	前会長



設立 30 周年記念式典表彰状・感謝状贈呈者名簿

(敬称略、五十音順)

表彰状贈呈

団体・法人・賛助会員

京都市陽ロータリークラブ
国際ソロプチミスト南京都
城陽市スポーツ協会
星和電機(株)
一般社団法人城陽青年会議所

近畿砂利協同組合
公益財団法人 城陽市民余暇活動センター
城陽商工会議所
日韓親善京都「さくらとむくげの会」

個人会員

北澤 扶三代
南部 茜

工藤 香代子
森 俊博

佐藤 公美

20 年永年会員 感謝状贈呈

団体・法人・賛助会員

城陽市文化芸術協会
JA 京都やましろ

城陽ライオンズクラブ

個人会員

嘉住 佳巳
長田 正
村瀬 豊

澤井 敏郎
古瀬 善啓
吉井 康雄

竹村 心一
峯松 功績
渡辺 理一

10 年永年会員 感謝状贈呈

団体・法人・賛助会員

(一財) 京都国際文化協会
社会福祉法人城陽福祉会
日韓親善蹴球交流実行委員会

城陽ソフトテニス協会
タケダ印刷株式会社

個人会員

有田 里美
上杉 順子
岡井 昭憲
片岡 敬愛
川村 和久
榎木 健
高山 和己
辻 文明
時待 美弥子
馬場 寧子
平山 雅三
伏見 及
細川 順子
森澤 博光
芳中 恵子

出野 富子
大久保 雅由
奥田 倫子
片野 晏弘
小久保 道生
柴田 範子
玉井 種一
辻井 麻杞
中村 美保
東森 陽子
フイン 牧子
藤村 佳代子
益田 政澄
森島 美佐子
蓮佛 明子

飯降 悦正
大久保 良子
小野 昌宥
片山 秋子
小島 一雄
清水 澄子
張 麗玲
手越 美恵子
西川 廣子
樋口 榮子
福井 百合子
ベティーナ ギルデンハルト
宮谷 洋介
安田 さゆり
和多田 美津子

岩見 幸代
大久保 玲子
笠原 かおる
鎌田 康四郎
小山 廣子
高橋 修
塚脇 節子
土井 純一
新田 志げ乃
人見 章夫
福田 茂
村上 弘芳
闇雲 共子



編集後記

10年に一度、3度目の「かけはし」を発刊することとなりました。

この10年（2013年～2023年）をふりかえると、地震や台風・豪雨などの自然災害が多く発生し、2020年からはそれらに加え新型コロナウイルス感染症が世界を覆いました。国内では少子高齢化の影響で外国人材受入が進み、定住化への門戸も開けられつつあります。私たちの周りでは、スマートフォンやSNSが急速に普及し、オンライン・ショッピングも定着しました。諸外国では激しいインフレもありますが、給与水準が大きく伸び、日本の経済的地位の変化も現れてきました。本当に大きな変化に対するチャレンジの時代の到来です。

協会では、20周年までの活動を土台として、新たに子ども英会話、災害時外国人支援、暮らしの情報多言語化などの事業にも取り組んできました。城陽市との「災害時における外国人支援に関する協定」、安芸高田市・京丹後市・西宮市の各国際交流協会との「広域他市連携パートナーシップ協定」の締結も連携・協働を礎とする新たな取り組みです。

この冊子が次の10年の「国際交流」と「多文化共生」の進め方の参考になればと思います。

最後になりましたが、祝辞や原稿を頂戴いたしました皆さまに厚く御礼申し上げます。

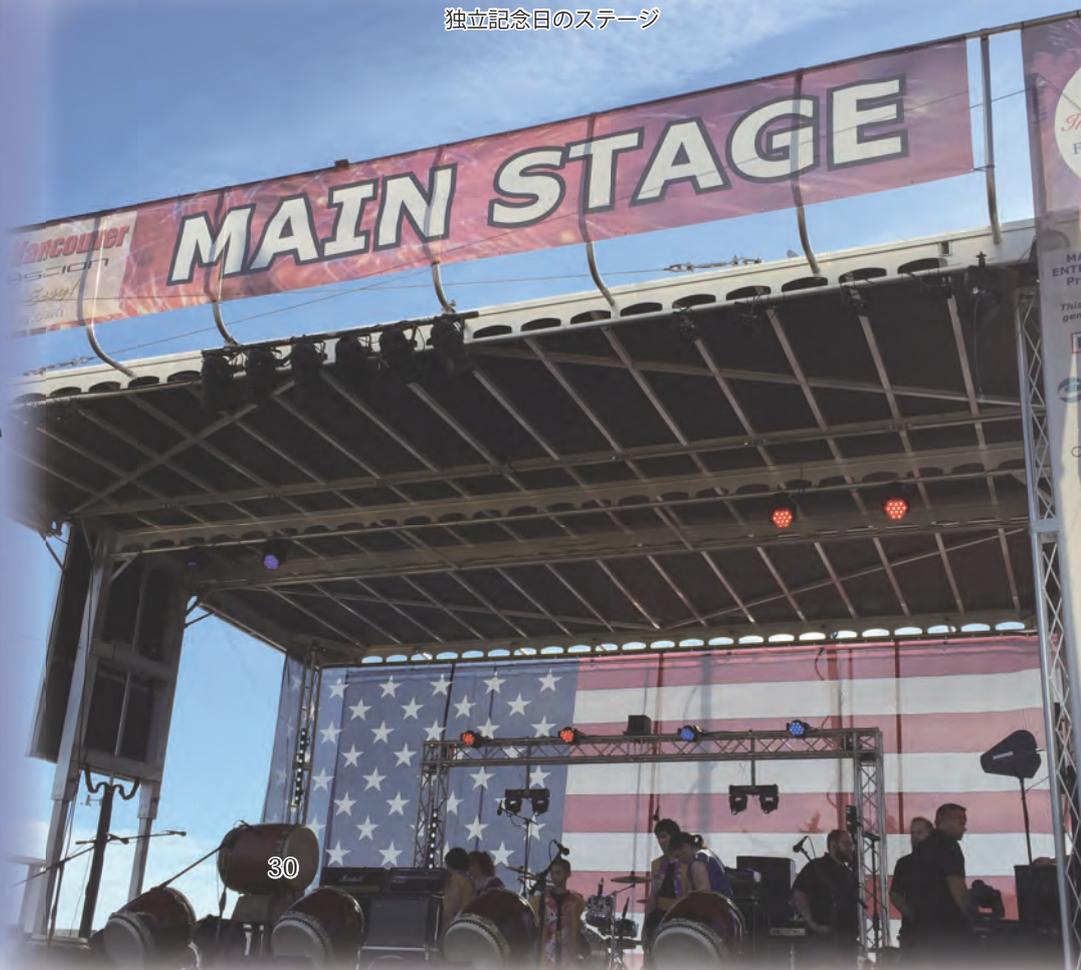


三聖賢歴史文化館の桜

独立記念日のステージ



サーモン・ラン・ベル・タワー





I
International

A
Association

J
Joyo

E
Exchange



城陽市国際交流協会

〒610-0121

城陽市寺田西ノロ7-4 西邦ビル2階

電話：0774-57-0713

Eメール：office@jia.jp

ホームページ：https://www.jia.jp/